

● 「生物多様性の本箱」 展示事例

■ 今治市大西図書館

人間がたくさんの生き物とつながり、支えられていることを学ぼうという児童図書企画

「生物多様性ってなに？」を実施。76冊の蔵書を展示。

環境省製作の「生物多様性広報パネル」画像をプリントし掲示。

<http://www.biodic.go.jp/biodiversity/possibility/tools/files/BDpanel.pdf>



■ 小山市中央図書館

児童開架室にて『テーマ別展示』及び『トピックコーナー』の2ヶ所で112冊の蔵書を展示。

①テーマ別展示／43冊 【展示期間：2014.11.1(水)～12.27(土)】

「生物多様性の本箱～みんなが生きものにつながる1100冊～」から【絵本特集】

また、リストより選書した館独自のブックリストを作成し、配布。

②トピックコーナー／69冊 【展示期間：2014.11.1(水)～11.30(木)】

「生物多様性の本箱～みんなが生きものにつながる100冊～」から【子ども向け特集】



■練馬区立南田中図書館

2階児童フロアに「生物多様性の本箱」コーナーを常設。

『ワンダーおはなし会』を毎月第3日曜日に1回30分、幼児・児童向けに実施。小さな実験や工作などを盛り込みながら、科学や生物多様性に関心を持つきっかけづくりとして行っている。



■新宿区立戸山図書館

生物多様性の概念が子どもたちによく伝わるように、大木に生きものが集うイメージを本棚に展示。

木が生えている本棚のむかいはは笹が生えた本棚があり、笹の下には国連生物多様性の10年日本委員会が発行する生物多様性マガジン『Iki・Tomo』のバックナンバーが並べられている。

<http://undb.jp/committee/tool/ikitomo/>



■相模原市立相模大野図書館

- 1) 子ども向け読書案内誌「チャイルズタイムス～みのがせない新聞」9月号（9月中旬発行）のテーマとして取り上げる。
- 2) 「チャイルズタイムス」の発行にあわせて特集展示棚にて展示を行う。
- 3) このゆびとまれのおはなし会（4～6歳向け）にて絵本の読み聞かせを実施。

